



【保健・福祉】

笑顔の数だけうれしいね。
やさしい手がつながる、健康の村づくり。



明るい福祉社会は、21世紀のテーマ



誰もが安心して利用できるデイサービスセンター



少子・高齢化や核家族化の進行、ライフスタイルの変化などにより社会福祉に対するニーズは増大し、その内容も複雑多様化しています。天栄村の高齢者人口は、平成12年3月末現在で約23.5%と国・県を大きく上回って高齢化が進行しており、福祉の充実が急務となっています。村では、誰もが家庭や地域の中で安心して暮らし続けられる活力のある福祉社会をめざし、新たな福祉理念のもとに、行政はもとより、村民・民間団体などが一体となった福祉の村づくりを進めています。

こうした状況の中、福祉の拠点として、平成8年3月に、保健・医療・福祉の機能を備えた健康保健センターへ「すびあ」がオープンしました。ここでは、健康増進の拠点として、生活習慣病予防などの各種検診、健康相談、80歳になっても20本以上の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」といった、健康づくりの推進を村ぐるみで図っています。平成10年には、誰もが受けられる在宅福祉の充実をめざして、「へるすびあ」に併設するかたちで「デイサービスセンター」と「在宅介護支援センター」も完成しました。入浴や食事、健康チェックなど、専門のスタッフがふれあいを基本にきめ細かい介護サービスを行っています。